

椎葉村「地域おこし協力隊」募集要項

「世界農業遺産」「日本三大秘境」の村 椎葉村

椎葉村は、九州中央山地の中央部に位置し、宮崎県と熊本県の県境に接しており、面積537.29km²と広大で、その96%を山林が占め、地形は1,000mを越える峻険な九州山脈に抱かれ傾斜地が多く、集落はその山間に点在している自然豊かな中山間の村です。

また、平家落人伝説を伝える村であり、現在でも独自の文化を維持し、神楽、臼太鼓踊、ひえつき節をはじめとする民謡、民話等、古くから伝わる慣習や伝統文化を大切に継承しています。

基幹産業は豊かな自然環境と森林資源を活かした農林業であり、林業はスギ、ヒノキを中心とした木材生産を行っており、農業は高冷地の特性を生かし、花卉や野菜の生産を行っています。

こうした環境の中、村を活性化させる取り組みを行ってきているところですが、過疎・高齢化により人口減少が進み、人材の確保に苦慮しています。

このため、地域外からの人材や新たな発想・能力を積極的に誘致していく事としており、椎葉村の地域活性化と一緒に取り組んでいただける方を募集します。

1. 募集人員

・サスティナブルフォレスター	・・・・・・・・・・	若干名
・秘境d e 農業	・・・・・・・・・・	若干名
・ONLY ONE プランナー	・・・・・・・・・・	若干名
・移住コーディネーター	・・・・・・・・・・	若干名

2. 業務概要

「サスティナブルフォレスター」

未来の地球環境が危惧される中、広大な面積を有する椎葉村の森林も人口減少に伴い管理者不在が増加していき、その保全に不安を抱えている。100年後に椎葉村の森林が環境と経済で価値あるものとするために、サスティナブルな森林づくりのプランニングから実践まで一貫して行う「これからの林業家」チームを創設し活動するミッションです。

「秘境d e 農業」

椎葉村では高冷地を活かした園芸や和牛の繁殖経営が盛んですが、生産者の高齢化により離農が増えつつあります。そのため、ビニールハウスでの農業を熟練者の指導で学びながら、農閑期などに6次化などを取り組み、新たな収益を得られる取り組みにチャレンジするミッションです。

任務終了後は就農することが条件となりますが、基盤整備されたハウスをリースで借りれるなど就農しやすい環境を整えています。

「移住コーディネーター」

椎葉村に様々なプレイヤーを引き込んでいくプランニングやそうした人々との対応、空き家の発掘および空き家バンクやサブリースへの展開、片付け等の対応などを移住サポーターなどと連携しチームで取り組みつつ、将来的に組織として自立し、業務を受託することを目指すミッションです。

「ONLY ONE プランナー」

「日本三大秘境」「世界農業遺産認定地域」「日本で最も美しい村連合加盟地域」など、日本の原風景が残されている地として広く認められている椎葉村を Only one な企画で盛り上げるミッションです。

椎葉村が求める次のミッションの組み合わせやご自身で考えるミッションなど幅広い活動を行うことができます。

【椎葉村が求めるミッション】

○サスティナブルマルチプレイヤー

椎葉村の自然を後世に残していくことをベースに、有機農業や自然の産物を確保するための森林活用に取り組む中で、環境に配慮した地産地消、環境などを考えた子どもたちへの教育・体験事業、オーガニックカフェなどの他分野への展開を目指すミッション。

○キッチンカー

人口減少していく中で飲食店も減少しており、土日祝日には1件程度しか営業していないこともあります。ただし、店舗での営業スタイルでは経営が難しい問題もあります。そこで、キッチンカーで村内外を走り回り、美味しい食を届けるサービスを行うミッションです。必須要件は土日祝日での営業を行うこと。

椎葉村の中心部である上椎葉地区以外に村内外の地域イベントなどでの出店を行い、地域の賑わいや自立性にも取り組みます。

○料理・特産品開発

椎葉村の独自の食文化は魅力的で貴重でもあるが、人口減少により特産品も含め、製造者が減少しています。椎葉村交流拠点施設 katerie のクッキングラボのスチームコンベクションオープンなどの設備を活かして特産品開発や既存商品のリバイバル、料理メニューによる旅館業とのコラボや自主飲食店起業、料理教室（オンライン配信含む）などの展開を目指すミッションです。

○縁側バイヤー

椎葉村の特産品などを「椎葉村物産センター平家本陣」で販売しているが、出荷者の高齢化により、販売商品の減少が進んでいる。椎葉村のメインの特産品販売所として、村内の特産品や農産物の買い付けや村外での販売会、EC サイトでの販売促進などに取り組み、販売強化および村内農家等の収益増加を図るミッションです。

また、将来的な物産センターの店舗経営の在り方（経営形態、営業箇所など）も検討するなど、企画リードしていく存在を期待しています。

○仲塔アクティビティ開発&宿泊誘客

椎葉村の仲塔地区にある簡易宿泊所を拠点として、E-MTB（電動マウンテンバイク）による胡麻山林道周遊や川遊び、クライミングなどの自然を活用したアクティビティ開発、体育館の活用（ボルタリングなど）で観光収益事業および簡易宿泊所の誘客活動を行うミッションです。

○神楽面伝統工芸士伝承

椎葉村の伝統芸能である神楽の面制作を伝統工芸士の古川氏から習得するミッションです。

○デジタル活用創出

これからの社会においてデジタルの活用は不可欠であり、椎葉村のような山間地域こそ、その活用が地域存続に大きな影響を及ぼしてきます。こうした椎葉村にマッチした活用を見だし、取り入れていくためには地域に在住して当事者意識で取り組む人材が必要です。

農林業や商工観光などの産業や子ども達から高齢者までデジタル機器の取り扱いや技術習得などの人材育成、複写医療サービスの活用など様々なジャンルの中から選定して取り組んでいく。また、そうしたビジネスのスタートアップ支援、人材育成なども想定されるミッションです。

○日本でも最も美しい村アンバサダー

椎葉村が加盟する「日本で最も美しい村」連合加盟地域と連携したツアー企画やアテンド業務、特産品コラボ開発など連合の理念を実践的に取り組みつつ意義ある活動に取り組むミッションです。

3. 募集対象

- （１）応募時点で原則５０歳未満であり、次のすべてに該当する方が対象となります。
- （２）現在、三大都市圏をはじめとする都市地域等（過疎地域以外）に在住しており、採用決定後、椎葉村に住民票を異動し、移住できる方。
- （３）普通自動車運転免許を有し、実際に運転できる方（ＭＴ、ＡＴ限定は問いません）
- （４）心身ともに健康で、地域おこし活動に意欲と情熱があり、積極的に活動できる方
- （５）地方公務員法第１６条に規定する欠格条項に該当しない方
- （６）活動終了後、起業・就業し、定住する意欲のある方
- （７）パソコン（ワード・エクセル等）の操作が行える方。

4. 勤務時間

- （１）勤務時間は基本８時３０分～１７時までとしていますが、業務内容により変動することがあります。※一部のミッションではシフト制の場合がございます。
- （２）年次休暇があります。

5. 雇用形態

- (1) 椎葉村の会計年度任用職員として村長が委嘱または所属事業所への委託
- (2) 期間は、委嘱の日から1年間とします。なお、期間は更新することができ最長で委嘱の日から3年間となります。着任開始日は選考試験の結果を踏まえて決定します。

6. 待遇及び福利厚生

- (1) 給与 月額160,548円(2年目および3年目は若干の昇給があります)
- (2) 住宅 椎葉村で確保します。家賃については、全て村で負担します
- (3) 諸手当 年2回賞与
通勤手当は通勤距離に応じて
- (3) 社会保険等 厚生年金、雇用保険等に参加します

7. 応募方法

- (1) 椎葉村公式ホームページにて、「地域おこし協力隊」応募用紙及び目標レポートをダウンロードし、必要事項の記入と写真を貼り下記住所まで郵送してください。
- (2) 応募期間 令和5年1月27日(金)
※採用が決定したものは終了いたします。
- (3) メールアドレスは携帯電話以外のものを記入してください
- (4) 応募先および問い合わせ先
〒883-1601 宮崎県東臼杵郡椎葉村下福良1762-1
椎葉村役場地域振興課 企画グループ
「地域おこし協力隊」担当
TEL 0982-67-3203
Mail shiibachiiki@gmail.com

8. 選考

- (1) 第1次選考
書類選考の上、結果を応募者全員にメール及び郵送で通知します。
(場合によってはオンライン面談を行います。)
第1次選考合格者には、2次選考の詳細をお知らせ致します。
- (2) 第2次選考
第2次選考試験(WE B面接試験)を実施します。
日時は、応募があった段階で随時、決定し、実施いたします。
選考結果は、後日、メール及び郵送で通知します。

9. その他

- (1) 募集に関する質問は、shiibachiiki@gmail.com宛にメールを頂きますようお願いいたします。
- (2) 椎葉村の状況を実際に知っていただく事も重要であるため、可能であれば地域おこし協力隊インターン制度もしくは地域おこし協力隊体験事業を活用して椎葉村にお越しいただく事をおすすめいたします。詳しくは7.(4)の担当までお問い合わせください。